

科目名	社会科学講義基礎					
科目名(英)	politics and economics					
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	藤田 理	
実施年度	2019年度	実施時期	通年	実務家教員 担当科目		
対象学科・学年	公務員総合科 1年					
授業概要	初級程度(高卒程度)公務員採用第一次試験において出題される社会科学分野(政治経済)を学習する。毎週実施する演習試験、前期・後期それぞれで実施する中間、期末テストを通して、政治経済の知識の定着を図り、試験に対応出来る力を身につける。 ※授業は「政治」「経済」を時間ごと交互に実施する。					
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標
	○	○				「政治」分野の学習内容を理解し、公務員試験の問題に正答を出せるようになる。
	○	○				「経済」分野の学習内容を理解し、公務員試験の問題に正答を出せるようになる。
テキスト・教材 参考図書	麻生キャリアサポート編集 : 絶対合格シリーズ 社会科学 テキスト編					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
		◆社会分野				
		1. 統治機構 三権分立①②				
		2. 統治機構 国会①②				
		3. 統治機構 内閣①②				
		4. 統治機構 裁判所①				
		5. 政治分野復習①				
		6. 統治機構 裁判所②				
		7. 日本国憲法の基本的性格①②				
		8. 地方自治①②				
		9. 選挙制度①②				
		10. 政治分野復習②				
		11. 民主主義の発展①②				
		12. 各国の政治制度①②				
		13. 基本的人権の尊重(1)自由権①②				
		14. 基本的人権の尊重(2)社会権・参政権・請願権①②				
		15. 政治分野復習③				
		16. 基本的人権の尊重(3)その他・①②前提となる人権等				
		17. 国際政治と日本①②				
		18. 政治分野復習④				
	◆経済分野					
	1. 経済の仕組み 市場と価格①②③					
	2. 企業の仕組み					
	3. 景気と物価①②					
	4. 金融と日本銀行の金融政策①					

	5. 経済部分復習①						
	6. 金融と日本銀行の金融政策②						
	7. 財政政策①②						
	8. 為替レートと貿易①②						
	9. 国際経済との関わり①②						
	10. 経済分野復習②						
	11. 国民所得と経済成長(様々な経済指標)①②						
	12. 現代日本経済の構造と課題①②						
	13. 経済学史						
	14. 社会保障・情報化①②						
	15. 労働事情						
	16. 経済分野復習③						
	17. 環境問題・農業問題①②						
	18. 政治分野:これまでの復習						
	19. 経済分野:これまでの復習						
	20. 全分野総復習						
評価方法	定期試験と演習試験を実施する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				80%
	演習試験	○	○				20%
履修上の注意							

科目名	人文科学講義基礎(日本史)					
科目名(英)	Japanese History					
単位数	3単位	時間数	45時間/120時間	担当者	児玉 博基	
実施年度	2019年度	実施時期	通年	実務家教員 担当科目		
対象学科・学年	公務員総合科 1年					
授業概要	高校日本史の中から公務員試験と関係の深い箇所を重点的に学ぶ。 前期は、「古代史」から「中世史」を扱います。縄文時代から室町時代までの流れを押さえて、政治体制を中心に説明する。後期は、「近世史」から「現代史」を扱います。安土桃山時代から昭和時代までの流れを押さえて、政治体制を中心に説明する。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標
	○					律令国家から武家政権誕生までを説明できる。
	○					鎌倉・室町時代について説明できる。
	○					幕藩体制と三大改革について説明ができる。
	○					明治維新以降の近現代史を説明できる。
	○					織豊政権について説明できる。
	○					江戸の幕政について説明できる。
	○					明治の近代化、戦争の歴史について説明できる。
	○					戦後史について説明できる。
テキスト・教材 参考図書	『絶対合格シリーズ(人文科学・テキスト編)』 高校時代の日本史の教科書や資料集を持っている人は適宜利用してください。					
回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
1	古代(1)「縄文、弥生時代の特色」、「ヤマト政権の誕生」			テキストの該当ページを読んでおくこと		
2	古代(2)「律令国家の形成へ」			テキストの該当ページを読んでおくこと		
3	古代(3)「律令国家の完成」			テキストの該当ページを読んでおくこと		
4	古代(4)「奈良時代」			テキストの該当ページを読んでおくこと		
5	古代(5)「律令国家の衰退へー律令再建から摂関政治ー」			テキストの該当ページを読んでおくこと		
6	古代(6)「律令国家の衰退へー摂関政治から院政へー」			テキストの該当ページを読んでおくこと		
7	古代(7)「院政と平氏政権の誕生ー院政と平氏政権ー」			テキストの該当ページを読んでおくこと		
8	文化史(飛鳥、白鳳、天平、国風文化など)			テキストの該当ページを読んでおくこと		
9	中世(1)「源平合戦」、「鎌倉幕府の成立」			テキストの該当ページを読んでおくこと		
10	中世(2)「執権政治」			テキストの該当ページを読んでおくこと		
11	中世(3)「蒙古襲来とその影響、鎌倉幕府滅亡へ」			テキストの該当ページを読んでおくこと		
12	中世(4)「南北朝時代」			テキストの該当ページを読んでおくこと		
13	中世(5)「室町幕府の確立」			テキストの該当ページを読んでおくこと		
14	中世(6)「下剋上の世の中へ」			テキストの該当ページを読んでおくこと		
15	文化史(鎌倉文化、北山・東山文化)、中世の社会経済			テキストの該当ページを読んでおくこと		
16	前期の復習			テキストの該当ページを読んでおくこと		
17	近世(1)「ヨーロッパ人の到来」、「織田信長の統一事業」			テキストの該当ページを読んでおくこと		
18	近世(2)「豊臣秀吉の統一事業」			テキストの該当ページを読んでおくこと		
19	近世(3)「江戸時代・幕藩体制」			テキストの該当ページを読んでおくこと		
20	近世(4)「江戸初期の外交」			テキストの該当ページを読んでおくこと		
21	近世(5)「文治政治への転換」			テキストの該当ページを読んでおくこと		

授業計画	22	近世(6)「幕政改革－享保の改革、田沼の政治－」	テキストの該当ページを読んでおくこと				
	23	近世(7)「幕政改革－寛政の改革、諸外国の接近－」	テキストの該当ページを読んでおくこと				
	24	近世(8)「幕政改革－天保の改革－」、「近世の社会経済」	テキストの該当ページを読んでおくこと				
	25	近世(9)「開国の流れ」	テキストの該当ページを読んでおくこと				
	26	近世(10)「不平等条約締結とその影響」、「幕末の政局」	テキストの該当ページを読んでおくこと				
	27	近世(11)「新政府の成立」	テキストの該当ページを読んでおくこと				
	28	近世史の小括	テキストの該当ページを読んでおくこと				
	29	近代(1)「富国強兵策と征韓論」、「大久保利通の政治」	テキストの該当ページを読んでおくこと				
	30	近代(2)「大隈と伊藤の政治」	テキストの該当ページを読んでおくこと				
	31	近代(3)「松方財政と民権運動の激化」	テキストの該当ページを読んでおくこと				
	32	近代(4)「内閣の変遷」、「条約改正」	テキストの該当ページを読んでおくこと				
	33	近代(5)「内閣の変遷」、「日露戦争」	テキストの該当ページを読んでおくこと				
	34	明治時代の小括	テキストの該当ページを読んでおくこと				
	35	近代(6)「護憲運動」、「第一次世界大戦」	テキストの該当ページを読んでおくこと				
	36	近代(7)「協調外交と護憲運動」、「恐慌対策」	テキストの該当ページを読んでおくこと				
	37	近代(8)「政党政治の終焉」、「日中戦争」	テキストの該当ページを読んでおくこと				
	38	近代(9)「日米開戦」	テキストの該当ページを読んでおくこと				
	39	現代(1)「戦後処理と復興」、「国際社会への復帰」	テキストの該当ページを読んでおくこと				
	40	現代(2)「高度経済成長part 1」	テキストの該当ページを読んでおくこと				
	41	現代(3)「高度経済成長part 2」	テキストの該当ページを読んでおくこと				
	42	現代史の小括	テキストの該当ページを読んでおくこと				
	43	文化史(1)	テキストの該当ページを読んでおくこと				
	44	文化史(2)	テキストの該当ページを読んでおくこと				
	45	文化史(3)	テキストの該当ページを読んでおくこと				
	評価方法	定期試験と演習試験を実施する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
定期試験		◎					80%
演習試験		○					20%
履修上の注意							

科目名	人文科学講義基礎(世界史)					
科目名(英)	World History					
単位数	8単位	時間数	45時間/120時間	担当者	松隈 達也	
実施年度	2019年度	実施時期	通年	実務家教員 担当科目		
対象学科・学年	公務員総合科 1年					
授業概要	<p>高校世界史の中から公務員試験と関係の深い箇所を履修する。 基本的には「ヨーロッパ・アメリカ史」と「アジア史」に分けて、それぞれの地域を「古代」「中世」「近世」「近代」「現代」と時代順に進め、公務員試験に対応できるレベルの獲得を目指す。 授業はおもに政治史を中心に進めるが、時折、文化史や社会経済史にも触れる。</p>					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標
	○					古代ギリシア・ローマの政治について、中世ヨーロッパの成り立ちとローマ教会について説明できる。
	○					ルネサンス、大航海時代、宗教改革、絶対王政の関係性について説明できる。
	○					市民革命と帝国主義について説明できる。
	○					2つの世界大戦と冷戦について説明できる。
テキスト・教材 参考図書	『絶対合格シリーズ(人文科学・テキスト編)』、授業内の配布プリント					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	古代ギリシア			『絶対合格シリーズ(人文科学・テキスト編)』p. 46-47. を読んでおくこと	
	2	ローマ共和政			同p. 48. を読んでおくこと	
	3	ローマ帝政			同p. 48-49. を読んでおくこと	
	4	ゲルマン民族、フランク王国			同p. 50. を読んでおくこと	
	5	ビザンツ帝国			同p. 52. を読んでおくこと	
	6	ノルマン人の侵攻			同p. 51. を読んでおくこと	
	7	中世のローマ教皇、十字軍			同p. 52-53. を読んでおくこと	
	8	英仏百年戦争			同p. 55. を読んでおくこと	
	9	中世都市、封建制の崩壊			同p. 54-55. を読んでおくこと	
	10	ルネサンス1			同p. 56. を読んでおくこと	
	11	ルネサンス2			同p. 56. を読んでおくこと	
	12	大航海時代1			同p. 56-57. を読んでおくこと	
	13	大航海時代2			同p. 56-57. を読んでおくこと	
	14	宗教改革1			同p. 58. を読んでおくこと	
	15	宗教改革2			同p. 58. を読んでおくこと	
	16	絶対王政1			同p. 57-59. を読んでおくこと	
	17	絶対王政2			同p. 60-61. を読んでおくこと	
	18	ピューリタン革命			同p. 62. を読んでおくこと	
	19	名誉革命			同p. 62-63. を読んでおくこと	
	20	北米13州の成立			同p. 64. を読んでおくこと	
	21	アメリカ独立戦争			同p. 64-65. を読んでおくこと	
	22	フランス革命			同p. 66-67. を読んでおくこと	
	23	ナポレオン戦争			同p. 68. を読んでおくこと	
	24	産業革命			同p. 70. を読んでおくこと	
	25	ウィーン体制			同p. 68. を読んでおくこと	

	26	19世紀ヨーロッパ各国	同p. 69-73.を読んでおくこと				
	27	19世紀のロシアと合衆国	同p. 72-75.を読んでおくこと				
	28	帝国主義の世界分割	同p. 76.を読んでおくこと				
	29	バルカン戦争と民族対立	同p. 76.を読んでおくこと				
	30	第一次世界大戦	同p. 77.を読んでおくこと				
	31	ロシア革命、ヴェルサイユ体制	同p. 78-79.を読んでおくこと				
	32	トルコ革命、ワシントン体制	同p. 79-80.を読んでおくこと				
	33	世界恐慌	同p. 80-81.を読んでおくこと				
	34	第二次世界大戦	同p. 82-83.を読んでおくこと				
	35	冷戦1	同p. 82-85.を読んでおくこと				
	36	冷戦2	同p. 86-87.を読んでおくこと				
	37	中国史1(殷～前漢)	同p. 88-90.を読んでおくこと				
	38	中国史2(後漢～南北朝)	同p. 90-92.を読んでおくこと				
	39	中国史3((隋～唐)	同p. 93-94.を読んでおくこと				
	40	中国史4(唐末～金)	同p. 94-96.を読んでおくこと				
	41	中国史5(モンゴル帝国～元)	同p. 97-98.を読んでおくこと				
	42	中国史6(明～清)	同p. 98-101.を読んでおくこと				
	43	中国史7(清末と西欧列強)	同p. 102-105.を読んでおくこと				
	44	中国史8(中華民国)	同p. 106-108.を読んでおくこと				
	45	中国史9(中華人民共和国)	同p. 106-111.を読んでおくこと				
評価方法	定期試験と演習試験を実施する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				80%
	演習試験	○	○				20%
履修上の注意							

科目名	人文科学講義基礎(地理)						
科目名(英)	geography						
単位数	8単位	時間数	30時間/120時間	担当者	柴田 健吾		
実施年度	2019年度	実施時期	通年	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	公務員総合科 1年生						
授業概要	公務員試験の一次試験(筆記試験)で、頻出単元になる「人文科学(地理)」での得点率を上げることを目標に講義を行う。世界各地の地形・気候の特徴を中心に、要点を踏まえたうえで問題演習を重ねながら公務員試験(地理)の得点率向上を目指す。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				地理の問題を解く上での知識や技術を身につけることができる。	
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・麻生キャリアサポート編 : 絶対合格シリーズ 人文科学 テキスト編 ・帝国書院 : 地図帳 ・オリジナルプリント(テキストの補足) 						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1,2	【はじめに】地理の基礎知識①②			毎週1度朝に実施される週テストに合格出来るように復習を行う。		
	2~5	【第1講座】気候・土壌①②③④			毎週1度朝に実施される週テストに合格出来るように復習を行う。		
	6~8	【第2講座】地形①②③			毎週1度朝に実施される週テストに合格出来るように復習を行う。		
	9,10	【第3講座】地図・図法①②			毎週1度朝に実施される週テストに合格出来るように復習を行う。		
	11~13	【第4講座】農業・エネルギー①②③			毎週1度朝に実施される週テストに合格出来るように復習を行う。		
	14	【第5講座】東アジア			毎週1度朝に実施される週テストに合格出来るように復習を行う。		
	15,16	【第6講座】東南アジア①②			毎週1度朝に実施される週テストに合格出来るように復習を行う。		
	16,17	【第7講座】南アジア			毎週1度朝に実施される週テストに合格出来るように復習を行う。		
	18	【第8講座】西アジア			毎週1度朝に実施される週テストに合格出来るように復習を行う。		
	19	【第9講座】アフリカ			毎週1度朝に実施される週テストに合格出来るように復習を行う。		
	20,21	【第10講座】ヨーロッパ①②			毎週1度朝に実施される週テストに合格出来るように復習を行う。		
	22	【第11講座】ロシア・旧ソ連諸国・中央アジア			毎週1度朝に実施される週テストに合格出来るように復習を行う。		
	23	【第12講座】北アメリカ			毎週1度朝に実施される週テストに合格出来るように復習を行う。		
	24	【第13講座】南アメリカ			毎週1度朝に実施される週テストに合格出来るように復習を行う。		
	25	【第14講座】オセアニア			毎週1度朝に実施される週テストに合格出来るように復習を行う。		
	26	【第15講座】人口			毎週1度朝に実施される週テストに合格出来るように復習を行う。		
	27	【第16講座】漁業・産業			毎週1度朝に実施される週テストに合格出来るように復習を行う。		
	28	【第17講座】時差			毎週1度朝に実施される週テストに合格出来るように復習を行う。		
29	【地理総復習①】			毎週1度朝に実施される週テストに合格出来るように復習を行う。			
30	【地理総復習②】			毎週1度朝に実施される週テストに合格出来るように復習を行う。			
評価方法	定期試験と演習試験を実施する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				80%
	演習試験	○	○				20%
履修上の注意							

科目名	自然科学・資料解釈講義基礎(数学・資料解釈)								
科目名(英)									
単位数	2単位	時間数	30時間/90時間	担当者	長友 裕幸				
実施年度	2019年度	実施時期	通年	実務家教員 担当科目					
対象学科・学年	公務員総合科 1年								
授業概要	公務員採用試験で出題されやすい単元を、演習プリントや麻生オリジナルテキストを使用して単元ごとで学習する。また、過去の公務員採用試験の復元問題を解くことで本試験の傾向を学ぶ。数学では、中学・高校内容の復習から、公務員試験で特に狙われる出題形式に慣れるための演習を行う。資料解釈では、複雑な資料から正答を見抜くための計算方法やキーワードを習得し、実戦的な解法を身につけることに主眼をおく。								
授業形式	講義:	○	演習:	△	実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標			
	○					【数学】各単元の数学的公式を身につけ、例題や基本問題を解くことができる。			
	○					【数学】実践的な解法を身につけ、過去の公務員試験の問題を解くことができる。			
	○					【資料】各資料の基本的な読み解き方を身につけ、例題や基本問題を解くことができる。			
	○					【資料】過去問の演習を通し、実際に出題されるレベルの問題を解けるようになる。			
テキスト・教材 参考図書	【数学】麻生キャリアサポート編著 絶対合格シリーズ 自然科学 テキスト編、補助プリント 【資料解釈】麻生キャリアサポート編著 絶対合格シリーズ 数的推理・資料解釈 テキスト編、補助プリント								
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示			
	1	[数学] 展開							
	2	[数学] 因数分解							
	3	[数学] 平方根(基本計算、有理化)							
	4	[数学] 一次関数(1)							
	5	[数学] 一次関数(2)							
	6	[数学] 二次方程式・二次不等式(1)							
	7	[数学] 二次方程式・二次不等式(2)							
	8	[数学] 二次関数(1)							
	9	[数学] 二次関数(2)							
	10	[数学] 二次関数(3)							
	11	[数学] 二次関数(4)							
	12	[資料] 第1章 導入①(1~2) 図表の見方、割合の計算							
	13	[資料] 第1章 導入②(3~4) 割合の計算、増減率の考え方							
	14	[資料] 第1章 導入③(5) 分数の大小比較							
	15	[資料] 第2章 実数と構成比①(導入、No.1~3)							
	16	[資料] 第2章 実数と構成比②(No.4~6)							
	17	[資料] 第3章 指数と構成比①(導入、No.1~3)							
	18	[資料] 第3章 指数と構成比②(No.4~6)							
	19	[資料] 第4章 増減率①(導入、No.1~2)							
	20	[資料] 第4章 増減率②(No.3~5)							
	21	[数学] 三角比(1)							
	22	[数学] 三角比(2)							
	23	[数学] 三角比(3)							
	24	[数学] 円の方程式・領域							
	25	[資料] 第5章 その他の資料(No.1~4)							
	26	[資料] 第6章 問題演習①(No.1~3)							
	27	[資料] 第6章 問題演習②(No.4~6)							
	28	[資料] 第6章 問題演習③(No.7~9)							
	29	[数/資] 総復習(プリント演習)							
	30	[数/資] 総復習(プリント演習)							
評価方法	定期試験と演習試験を実施する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。								
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	定期試験	◎	◎				80%		
	演習試験	○	○				20%		
履修上の注意									

科目名	自然科学・資料解釈講義基礎(生物・地学)					
科目名(英)						
単位数	6単位	時間数	30時間/90時間	担当者	仲上 繁	
実施年度	2019年	実施時期	通年	実務家教員 担当科目		
対象学科・学年	公務員総合科 1年					
授業概要	公務員採用試験で出題される単元の内容(以下1~30に示す単元)の内容を理解できるようにする。また、過去の公務員採用試験の復元問題を解くことで本試験の傾向を学ぶ。					
授業形式	講義:	<input type="radio"/>	演習:	<input type="checkbox"/>	実習:	
					実技:	
					※ 主たる方法:	<input type="radio"/> その他: <input type="checkbox"/>
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	目標
	<input type="radio"/>					例題解説を通し、各単元の基本的解法を身に付けることができる
	<input type="radio"/>					過去問演習を通し、実践的な解法を身に付けることができる
テキスト・教材 参考図書	・麻生キャリアサポート編集 : 絶対合格シリーズ 自然科学 テキスト編					
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示
	1	生体のつくり				
	2	細胞分裂				
	3	生殖、遺伝				
	4	遺伝				
	5	酵素				
	6	同化(光合成・窒素同化)				
	7	異化(呼吸・発酵)				
	8	1~7の授業内容の復習①(定期テスト対策)				
	9	1~7の授業内容の復習②(定期テスト対策)				
	10	刺激				
	11	反応				
	12	恒常性				
	13	調節				
	14	10~13の授業内容の復習①(定期テスト対策)				
	15	10~13の授業内容の復習②(定期テスト対策)				
	16	植物の反応				
	17	動物の行動				
	18	生態系				
	19	進化				
	20	地球の内部				
	21	地震				
	22	16~21の授業内容の復習①(定期テスト対策)				
	23	16~21の授業内容の復習②(定期テスト対策)				
	24	岩石				
	25	火山				
	26	大気構成、天気(1)				
	27	大気構成、天気(2)				
	28	大気構成、天気(3)				
	29	24~28授業内容の復習①(定期テスト対策)				
30	24~28授業内容の復習②(定期テスト対策)					
評価方法	定期試験と演習試験を実施する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他
	定期試験	◎	◎			
	演習試験	○	○			
履修上の注意						

科目名	自然科学・資料解釈講義基礎(化学・物理・地学)						
科目名(英)							
単位数	6単位	時間数	30時間/60時間	担当者	堀 津与志 中川 俊祐		
実施年度	2019年度	実施時期	通年	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	公務員総合科 1年						
授業概要	公務員採用試験で出題される単元の内容(以下1~30にて提示)を理解できるレベルへ到達することを目指す。また、過去の公務員採用試験の復元問題を解くことで、本試験の傾向を学ぶ。						
授業形式	講義:	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	目標		
	○				例題解説を通し、各単元の基本的解法を身に付けている。		
	○				過去問演習を通し、実践的な解法を身に付けている。		
テキスト・教材 参考図書	・麻生キャリアサポート編集 : 絶対合格シリーズ 自然科学 テキスト編						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	物質の構造1					
	2	物質の構造2					
	3	モル・化学反応式1					
	4	モル・化学反応式2					
	5	酸と塩基1					
	6	酸と塩基2					
	7	酸化・還元1					
	8	酸化・還元2					
	9	復習1(単元1~8の単元) 定期テスト対策					
	10	周期表1					
	11	周期表2					
	12	気体					
	13	気体の性質・溶解度					
	14	金属の性質					
	15	復習2(単元10~14の復習) 定期テスト対策					
	16	力					
	17	滑車・てんびん・ばね・浮力					
	18	物体の運動					
	19	仕事・工学的エネルギー・熱量					
	20	電気					
	21	波動1					
	22	波動2					
	23	放射線					
	24	復習3(単元16~23) 定期テスト対策					
	25	地球の運動					
	26	太陽・月					
	27	太陽系の天体					
	28	恒星と宇宙					
	29	地球の歴史					
30	復習4(単元10~14) 定期テスト対策						
評価方法	定期試験と演習試験を実施する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				80%
	演習試験	○	○				20%
履修上の注意							

科目名	文章理解講義基礎(現代文実戦講義)						
科目名(英)	Japanese Language						
単位数	4単位	時間数	30時間/60時間	担当者	佐藤 美聡		
実施年度	2019年度	実施時期	通年	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	公務員総合科 1年						
授業概要	公務員試験に則した文章読解演習を行う。 また、作文対策授業を行う。漢字・慣用句などの国語の小テストも実施する。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				文章理解(和文)において、内容合致・要旨・文章整序・空欄補充・古文問題における読解力を身につけ、各種受験先の問題でミスを1題以内に抑えることができる。	
テキスト・教材 参考図書	・麻生キャリアサポート編集 : 絶対合格シリーズ 文章理解 テキスト編						
授業計画		授業項目・内容			授業外学習指示		
	1	文章理解(和文)試験概要講義 2コマ					
	2	基礎授業講義 (内容合致・要旨・文章整序・空欄補充) 各2コマ×4 = 8コマ					
	3	基礎演習 (内容合致・要旨・文章整序・空欄補充) 各2コマ×4 = 8コマ					
	4	実践演習 (内容合致・要旨・文章整序・空欄補充) 11コマ					
	5	作文対策講義 1コマ					
	6						
	7	※ 基礎授業講義、基礎演習、実践演習においては、国語小テストを行う					
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	定期試験と演習試験を実施する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				80%
	演習試験	○	○				20%
履修上の注意							

科目名	文章理解講義基礎(英語基礎講義)						
科目名(英)							
単位数	4単位	時間数	30時間/60時間	担当者	中尾 亜希子		
実施年度	2019年度	実施時期	通年	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	公務員総合科 1年						
授業概要	初級程度公務員採用試験(一次試験)の、文章理解(英文)および英語において、解答するために必要な基礎英文法を身に付け、文章読解力を身に付ける。また、英単語、ことわざ対策として小テストを毎時間実施する。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他		
	○	○					
	○	○					
目標	公務員採用一次試験問題(英語・英文法)に対して正答を導き出せるようになる。						
目標	公務員採用一次試験問題(長文読解)に対して正答を導き出せるようになる。						
テキスト・教材 参考図書	・麻生キャリアサポート編集 : 絶対合格シリーズ 文章理解 テキスト編 ・ナガセ : 英単語 FORMULA1700						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	Section1 品詞・ガイダンス					
	2	Section2 文構造・英単語テスト第1回 ことわざテスト#1(1~6)					
	3	Section3 時制・英単語テスト第2回 ことわざテスト#2(7~12)					
	4	Section4 助動詞・英単語テスト第3回 ことわざテスト#3(13~18)					
	5	Section5 受動態・英単語テスト第4回 ことわざテスト#4(19~24)					
	6	Section6 不定詞(P.144・145)・英単語テスト第5回 ことわざテスト#5(25~30)					
	7	Section6 不定詞つづき(P.146・147)・英単語テスト第6回 ことわざテスト#6(31~36)					
	8	Section7 完了・英単語テスト第7回 ことわざテスト#7(37~42)					
	9	Section8 比較・英単語テスト第8回 ことわざテスト#8(43~48)					
	10	Section8 比較つづき・英単語テスト第9回 ことわざテスト#9(49~54)					
	11	第1講義~第10講義の復習					
	12	Section9 関係代名詞・英単語テスト第10回 ことわざテスト#10(55~60)					
	13	Section9 関係代名詞つづき・英単語テスト第11回 ことわざテスト#11(61~66)					
	14	Section10 動名詞・英単語テスト第12回 ことわざテスト#12(67~72)					
	15	Section10 動名詞つづき Section11 知覚動詞・使役動詞 英単語テスト第13回・ことわざテスト#13(73~78)					
	16	Section12 仮定法・英単語テスト第14回 ことわざテスト#14(79~84)					
	17	導入P.104 演習・解説・英単語テスト第15回 ことわざテスト#1(1~6)					
	18	P.105・106 演習・解説・英単語テスト第16回 ことわざテスト#2(7~12)					
	19	P.107・108 演習・解説・英単語テスト第17回 ことわざテスト#3(13~18)					
	20	P.109・110 演習・解説・英単語テスト第18回 ことわざテスト#4(19~24)					
	21	P.111・112 演習・解説・英単語テスト第19回 ことわざテスト#5(25~30)					
	22	P.113・114 演習・解説・英単語テスト第20回 ことわざテスト#6(31~36)					
	23	P.115・116 演習・解説・英単語テスト第21回 ことわざテスト#7(37~42)					
	24	P.117・118 演習・解説・英単語テスト第22回 ことわざテスト#8(43~48)					
	25	P.119・120 演習・解説・英単語テスト第23回 ことわざテスト#9(49~54)					
	26	P.121・122 演習・解説・英単語テスト第24回 ことわざテスト#10(55~60)					
	27	P.123・124 演習・解説・英単語テスト第25回 ことわざテスト#11(61~66)					
	28	P.125・126 演習・解説・英単語テスト第26回 ことわざテスト#12(67~72)					
	29	P.127・128 演習・解説・英単語テスト第27回 ことわざテスト#13(73~78)					
	30	P.129 演習・解説・英単語テスト第28回 ことわざテスト#14(79~84)					
	評価方法	定期試験と演習試験を実施する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
定期試験		◎	◎				80%
演習試験		○	○				20%
履修上の注意	【英単語/ことわざテスト】 不合格者には追加課題を別途指示。						

科目名	判断推理講義基礎(判断論理)						
科目名(英)							
単位数	6単位	時間数	60時間/90時間	担当者	中川 彩		
実施年度	2019年度	実施時期	通年	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	公務員総合科 1年						
授業概要	判断推理の論理分野において、公務員採用試験で出題されやすい単元を、授業内で配布される演習プリントや麻生オリジナルテキストを使用して科目ごとで学習する。また、過去の公務員採用試験の復元問題を解くことで本試験の傾向を学ぶ。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					例題解説を通し、各単元の基本的解法を身につけている。	
		○				論理的思考を身に付け、図や表を用いた実践的な解法を習得し、公務員試験問題を解答できる。	
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・麻生キャリアサポート編集：絶対合格シリーズ 判断推理 テキスト編 ・配布プリント 						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
		1. 対応関係①～⑥					
		2. 試合・勝敗①～④					
		3. 論理①～⑤					
		4. 演習→復習演習1. (対応関係、試合・勝敗、論理)					
		5. うそつき①～⑤					
		6. 順序関係①～⑦					
		7. 演習→復習演習2. ①～②(前期で学習した単元)					
		8. 集合・人数①～⑥					
		9. 位置・方位①～⑤					
		10. 演習→復習演習3. (集合・人数、位置・方位)					
		11. 暗号①～④					
		12. 手順①～⑤					
		13. 数量推理①～④					
		14. 暦・カレンダー①～②					
	15. 総合演習→総復習演習①～③						
評価方法	定期試験と演習試験を実施する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				80%
	演習試験	○	○				20%
履修上の注意							

科目名	判断推理講義基礎(判断図形)						
科目名(英)							
単位数	6単位	時間数	30時間/90時間	担当者	吉武 伸生		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	公務員総合科 1年						
授業概要	判断推理の図形分野において、公務員採用試験出題される単元を、麻生オリジナルテキストと授業内で配布されるプリントを使用し各单元ごとに学習する。また、過去に出題された公務員試験問題や、麻生オリジナルの類似問題を解くことで、本試験の出題傾向を学ぶ。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					例題解説を通し、各単元の基本的解法を身につけている。	
		○				図形を平面及び立体的に把握し、実践的な解法を身に付け、公務員試験問題を解答できる。	
テキスト・教材 参考図書	・麻生キャリアサポート編集：絶対合格シリーズ 判断推理 テキスト編 ・配布プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
		1. 折り紙①～②					
		2. 道順・位相①～③					
		3. 展開図(1)①②③					
		4. 演習→復習演習1.(折り紙、道順・位相、展開図(1))					
		5. 展開図(2)サイコロ①②					
		6. 平面図形①～③					
		7. 演習→復習演習2.(展開図(2)サイコロ、平面図形)					
		8. 前期総復習					
		9. 軌跡①～③					
		10. 空間の分割①～②					
		11. 演習→復習演習3.(軌跡、空間の分割)					
		12. 多面体・切断・回転①～④					
		13. 空間図形の投影①～②					
		14. 演習→復習演習4.(多面体・切断・回転、空間図形の投影)					
	15. 総復習(後期、通年)①～②						
評価方法	定期試験と演習試験を実施する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				80%
	演習試験	○	○				20%
履修上の注意							

科目名	数的推理講義基礎(数的論理)						
科目名(英)							
単位数	6単位	時間数	60時間/90時間	担当者	梶村 勝治		
実施年度	2019年	実施時期	通年	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	公務員総合科 1年						
授業概要	数的推理の論理分野において、公務員採用試験で出題されやすい単元を、授業内で配布される演習プリントや麻生オリジナルテキストを使用して科目ごとで学習する。また、過去の公務員採用試験の復元問題を解くことで本試験の傾向を学ぶ。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					例題解説を通し、各単元の基本的解法を身につけている。	
		○				論理的思考を身に付け、図や表を用いた実践的な解法を習得し、1問3分以内で解答できる。	
テキスト・教材 参考図書	・麻生キャリアサポート編 : 絶対合格シリーズ 数的推理・判断推理 テキスト編 ・オリジナルプリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
		1. 濃度・比と割合①～④					
		2. 売買損益①～②					
		3. 年齢算・平均算①～④					
		4. 復習演習1. 上記5単元①～②					
		5. 記数法①～②					
		6. 速さ(旅人算・通過算・流水算・その他)①～⑧					
		7. 時計算					
		8. 復習演習2. 上記6単元①～②					
		9. 仕事算・ニュートン算①～⑤					
		10. 方程式(一次・連立・不定)、不等式・その他数量①～⑧					
		11. 魔法陣・覆面算①～②					
		12. 復習演習3. 上記9単元①～②					
		13. 約数・倍数・数列①～⑥					
		14. 場合の数・確率①～⑩					
	15. 復習演習4. 上記5単元①～②						
評価方法	定期試験と演習試験を実施する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				80%
	演習試験	○	○				20%
履修上の注意							

科目名	数的推理講義基礎(数的図形)						
科目名(英)							
単位数	6単位	時間数	30時間/90時間	担当者	甲斐 友康		
実施年度	2019年	実施時期	通年	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	公務員総合科 1年						
授業概要	数的推理の図形分野において、公務員採用試験で出題されやすい単元を、授業内で配布される演習プリントや麻生オリジナルテキストを使用して科目ごとで学習する。また、過去の公務員採用試験の復元問題を解くことで本試験の傾向を学ぶ。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					例題解説を通し、各単元の基本的解法を身につけている。	
		○				図形を平面及び立体的に把握し、実践的な解法を身に付け、公務員試験問題を解答できる。	
テキスト・教材 参考図書	・麻生キャリアサポート編集 : 絶対合格シリーズ 数的推理・資料解釈 テキスト編 ・オリジナル演習プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
		1. 三角形と多角形①～⑥					
		2. 円①～④					
		3. 復習					
		4. 面積(三角形)①～④					
		5. 面積(円・扇形)①～②					
		6. 面積(その他)①～②					
		7. 復習演習2					
		8. 立体1(体積・表面積・展開図)①～④					
		9. 立体2(切断・回転図・その他)①～④					
		10. 復習演習3 ①～②					
評価方法	定期試験と演習試験を実施する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				80%
	演習試験	○	○				20%
履修上の注意							

科目名	適性知識演習基礎						
科目名(英)							
単位数	10単位	時間数	150時間	担当者	各担任		
実施年度	2019年度	実施時期	通年	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	公務員総合科 1年						
授業概要	事務適性試験の反復練習を実施し、適性試験に慣れることと処理速度をあげること身につけさせ、点数向上を目指す。また、前週及び前日までに実施された授業について演習試験で確認を行うことで、授業内容の理解と修得状況の確認を行い知識の定着を図る。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				事務適性試験を反復して解くことで、処理速度をあげ、より多くの問題を解くことができる。	
	○	○				演習試験で自己の授業理解度の確認と伴に、再試験によって不正解内容の定着がされ、以後同分野問題の解答ができる。	
テキスト・教材 参考図書	・実務教育出版 適性試験ステップ25[基礎] 編試験No.1～No.100						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
		1. 事務適性試験、一般教養演習 1～10					
		2. 事務適性試験、一般教養演習 11～20					
		3. 事務適性試験、一般教養演習 11～20					
		4. 事務適性試験、一般教養演習 31～40					
		5. 事務適性試験、一般教養演習 41～50					
		6. 事務適性試験、一般教養演習 51～60					
		7. 事務適性試験、一般教養演習 61～70					
		8. 事務適性試験、一般教養演習 71～80					
		9. 事務適性試験、一般教養演習 81～90					
		10. 事務適性試験、一般教養演習 91～100					
		11. 事務適性試験、一般教養演習 101～110					
		12. 事務適性試験、一般教養演習 111～120					
		13. 事務適性試験、一般教養演習 121～130					
		14. 事務適性試験、一般教養演習 131～140					
		15. 事務適性試験、一般教養演習 141～150					
評価方法	適性演習試験、演習試験を実施し、正答率を点数換算し総合評価。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	適性演習試験	◎	◎				80%
	演習試験	○	○				20%
履修上の注意							

科目名	公務員リテラシー基礎A						
科目名(英)							
単位数	8単位	時間数	130時間	担当者	各担任		
実施年度	2019年度	実施時期	通年	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	公務員総合科 1年						
授業概要	公務員になるにあたって必要な知識と教養を身につけることを目的とし、志望する公務員について正しく理解することに加えて、効果的な受験までの活動と自己を知るための各種の活動を学ぶ。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○	○	○		公務員になるにあたっての必要な知識・経験を積み、自身の考えを述べるようになる。	
テキスト・教材 参考図書	実務教育出版模擬試験						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
		1. 模擬試験 24時間					
		2. 性格検査 2時間					
		3. 知能演習 25時間					
		4. 職種紹介ガイダンス 7時間					
		5. ガイダンス(討論、受験情報など) 9時間					
		6. 公務員研究ゼミ(分析、研究、行動、発表) 16時間					
		7. 作文演習 1時間					
		8. 事務・公安対策 6時間					
		9. 導入期ⅠⅡ講義・演習 40時間					
		Ⅰ:グループワーク・集団行動、挨拶訓練・座談会・講演等					
		Ⅱ:講演・座談会・模擬試験 等					
	評価方法	レポート提出状況によって評価をつける。 R評価 (レポート文字数 2/3以上) D評価 (上記に該当しない場合)					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
レポート提出		○	○	○	◎		100%
履修上の注意							

科目名	GCB I (グローバル・シティズン・ベーシック I)						
科目名(英)	Global Citizen Basic						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	担任		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	公務員総合科 1年						
授業概要	マナーと協力(協働)について学ぶ全8講座を、50分授業×15回で実施する。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○		○		感謝心を持つことにより他者依存から脱却する考えを持ち、それを述べられるようになる。	
	○	○		○		責任感と他者への思いやりをカタチにして表現(行動)できるようになる。また、それらのことを振り返り表現できる。	
テキスト・教材 参考図書	GCB I テキスト						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	第1講座 グローバル・シティズンを目指そう①					
	2	第1講座 グローバル・シティズンを目指そう②					
	3	第2講座 「協働」の態度を持った学生生活①					
	4	第2講座 「協働」の態度を持った学生生活②					
	5	第3講座 よりよい人間関係の構築に向けて モラル・マナーの重要性①					
	6	第3講座 よりよい人間関係の構築に向けて モラル・マナーの重要性②					
	7	第4講座 マナーの本質 I ①					
	8	第4講座 マナーの本質 I ②					
	9	第5講座 マナーの本質 II ①					
	10	第5講座 マナーの本質 II ②					
	11	第6講座 グローバル・シティズンとしての日常①					
	12	第6講座 グローバル・シティズンとしての日常②					
	13	第7講座 グローバル・シティズンとしての目標③					
	14	第7講座 グローバル・シティズンとしての目標④					
	15	第8講座 グローバル・シティズンとしての「志」に向けて					
評価方法	レポート試験状況により評価をつける R評価(レポート試験文字数2/3以上) D評価(上記に満たない場合)						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	レポート試験	○	○		◎		100%
履修上の注意							

科目名	ビジネス実務基礎					
科目名(英)						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	相原 希久子 松田 陽子	
実施年度	2019年度	実施時期	通年	実務家教員 担当科目		
対象学科・学年	公務員総合科 1年					
授業概要	パソコン操作とペン字を学習する。 パソコン操作については、操作基本となるワードとエクセルの基本操作を身に付ける。また、ネットを活用する際に求められるコンプライアンスについても併せて身に付ける。ペン字については、基本的な文字の書き方から様々な対象に応じた書式を学習し、公務員試験に対応できる正しいペン字知識を身に付ける。授業進行については、パソコンとペン字の順で交互に実施する。					
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	
	○	○	○	○	目標	
	○	○	○	○	基礎的なPC操作(ワード、エクセル、パワーポイント)ができるようになる	
	○	○	○	○	美しい字を書くコツを学ぶ	
テキスト・教材 参考図書	30時間でマスター Word&Excel2016 (Windows10)					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	パソコン1:メールの設定				
	2	ペン字 1:ペン字の基本				
	3	パソコン2:ワード(1)入力の基礎・情報倫理(1)				
	4	ペン字 2:平仮名(1)基礎				
	5	パソコン3:ワード(2)社内文章①・情報倫理(2)				
	6	ペン字 3:平仮名(2)まとめ				
	7	パソコン4:ワード(3)社内文章②・情報倫理(3)				
	8	ペン字 4:片仮名				
	9	パソコン5:ワード(4)社内文章③・情報倫理(4)				
	10	ペン字 5:名前書き(1)基礎				
	11	パソコン6:ワード(5)社内文章④・情報倫理5				
	12	ペン字 6:名前書き(2)まとめ				
	13	パソコン7:ワード(6)社内文章⑤				
	14	ペン字 7:履歴書書き				
	15	パソコン8:ワード(7)社内文章⑥				
	16	ペン字 8:縦書きの書式				
	17	パソコン9:ワード(8)まとめ				
	18	ペン字 9:はがき書式				
	19	パソコン10:エクセル(1)表作成				
	20	ペン字 10:封書書式(1)個人宛				
	21	パソコン11:エクセル(2)表作成②				
	22	ペン字 11:封書書式(1)企業宛				
	23	パソコン12:エクセル(3)グラフ作成				
	24	ペン字 12:封書書式(1)企業宛大封筒①				
	25	パソコン13:エクセル(4)関数①				
	26	ペン字 13:封書書式(1)企業宛大封筒②				
	27	パソコン14:エクセル(5)関数②				
	28	ペン字 14:公務員試験面接カード(1)基本				
	29	パソコン15:エクセル(6)まとめ				
	30	ペン字 15:公務員試験面接カード(2)まとめ				
評価方法	演習課題の状況により評価をつける R評価(レポート課題提出 2/3以上) D評価(出席2/3以下)					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他
	レポート課題提出	◎	○	◎		
履修上の注意						